

Friendly Awara

友好交流 ～新たな第1歩



あわら市・紹興市友好都市関係の継続発展に関する議定書を締結



<平成 16 年 9 月 22 日：友好都市関係の継続発展に関する議定書に署名する松木幹夫あわら市長と王永昌紹興市長>

旧芦原町では、芦原町出身の医師・藤野巖九郎と中国浙江省紹興市出身の文豪・魯迅との師弟愛を機縁に、昭和 58 年 5 月 18 日、紹興市と国際友好市町の間係を結びました。

あわら市誕生以来、両市では、両先賢が開いた友誼を継承・発揚し、両市の交流をゆるぎないものとするため、現存する友好都市関係を継続。さらに発展させることで合意しました。

先人たちの師弟愛を機縁とした友誼は、あわら市へと引き継がれ、さらなる交流を深めてまいります。



日本国福井県あわら市
中華人民共和国浙江省紹興市 友好都市関係の継続発展に関する

議 定 書

日本国福井県あわら市は、藤野巖九郎先生の故郷であり、中華人民共和国浙江省紹興市は、魯迅先生の故郷である。あわら市は、2004 年 3 月 1 日に旧芦原町と旧金津町が合併して誕生した。旧芦原町と紹興市は、1983 年 5 月 18 日に藤野巖九郎先生と魯迅先生との師弟愛を機縁とし、友好市町の締結を行った。双方は、広範な分野で豊かつ多彩な交流活動を行い、着実な成果を収めた。両先賢が開いた友誼を継承、発揚し、両市の交流をゆるぎないものとするため、あわら市と紹興市は、協議のうえ、現存する友好都市関係を更に継続、発展させることで合意した。

- 一、双方は、日中平和友好条約の基本原則に基づいて、これまでの交流活動を更に発展させ、経済、文化、科学技術等の分野の交流と協力を進め、両市の繁栄と両国民の友好協力を促進するために努力する。
- 二、両市の指導者及び各界各層は、必要に応じて、双方が合意した適当な方法によって、両市の友好交流増進のため、具体的に協議を行う。
- 三、この議定書は、2004 年 9 月 22 日に紹興市で署名され、同日をもって発効する。
- 四、この議定書は、日本語文、中国語文の本書 2 通により作成され、それぞれ同等の効力を有する。

日 本 国
福井県あわら市市長

中華人民共和国
浙江省紹興市市長

2004 年 9 月 22 日

あわら市誕生記念

第1次あわら市友好訪中団を派遣

平成16年9月21日から25日までの間「あわら市誕生記念 第1次あわら市友好訪中団（団長 松木幹夫あわら市長）」を紹興市へ派遣しました。この訪中団は、一般公募を中心とした総勢36名の新生あわら市民で編成され、紹興市をはじめ杭州市、北京市を訪問しました。

<議定書の締結>

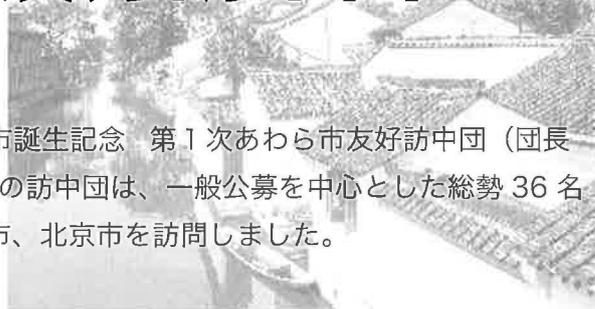
22日には、紹興市内の紹興国際大酒店において「あわら市・紹興市友好都市関係の継続発展に関する議定書」の締結式を行いました。厳粛な雰囲気の中、両市民約70名の立ち会いのもと、松木幹夫あわら市長と王永昌紹興市長は、今後の交流事業の発展を誓い、議定書に署名しました。

この後、一行は、魯迅のテーマパークともいえる魯迅故里を視察。同敷地内には、昨年4月に新装された紹興魯迅記念館や魯迅の生家・魯迅故居があり、平日にもかかわらず、たくさんの人々が訪れていました。

<浙江省と北京の中日友好協会表敬>

23日には、紹興国際友好会館落成式に出席した後、杭州市へと向かいました。西湖のほとりにある西子国賓館に浙江省を表敬訪問し、沈祖倫浙江省人民対外友好協会長や紀根立浙江省旅游局長（元紹興市長）をはじめとする省幹部と親しく懇談しました。

一行は、この後、一路北京へと向かい、24日には、天安門広場、故宮博物院、万里の長城を見学したほか、団代表者による中日友好協会表敬訪問を行い、許金平秘書長や蔡紅経済交流・都市交流部長と今後の交流事業の促進について、幅広く意見交換を行いました。一行は、行く先々で熱烈な歓迎を受け、貴重な思い出を胸に、25日、全員無事に帰国しました。



<紹興市街>



<訪中団員の皆さん>

今回の訪中に参加された団員の皆さんは、ほとんどの方が初めての訪中ということもあり、一連の日程を通じ、両先賢の師弟愛に機縁するあわら市と紹興市の絆の深さに感銘を受けるとともに、中国各都市の急速な発展・変貌ぶりに驚いた様子でした。

第1次あわら市友好訪中団員名簿<敬称略>

佐賀定義	(市姫二丁目)	富田和子	(番田)
石田中嶋	(市姫三丁目)	藤井藤子	(中番)
安田中嶋	(春宮二丁目)	西郡美智子	(滝)
長谷川祐次	(布目)	坂本美恵	(滝)
吉川正信	(市姫四丁目)	伴藤君枝	(舟津)
海老田修一	(布目)	吉川恵美子	(布目)
穴田州夫	(御簾尾)	安嶋久恵	(布目)
篠崎満雄	(二面)	藤田ハデ子	(中番)
深谷正幸	(北本堂)	川崎邦子	(堀江十楽)
長谷川誠	(矢地)	長谷川信子	(市姫四丁目)
山田重喜	(御簾尾)	大木下美智子	(大溝一丁目)
藤野卓美	(北疋田)	山田紀子	(市姫四丁目)
山口志代治	(下番)	山岸須美子	(温泉4丁目)
北島登	(東山)	宮崎清枝	(市姫四丁目)
	(大溝二丁目)	八木順子	(清滝)
団長 松木 幹夫	あわら市長		
副団長 渡辺 重夫	あわら市議会議長		
副団長 齊藤 貞夫	あわら市日中友好協会副会長兼事務局長		
参与 宗澤 彰	あわら市議会総務常任委員長		
秘書長 辻 博信	市長室秘書広報課長		
秘書 江 守 耕一	市長室秘書広報課主査		



<魯迅の生家・魯迅故居>



<紹興市街>



<紹興魯迅記念館：藤野巖九郎と魯迅の人形>



魯迅先生東北大学留学百周年記念事業

特別展「魯迅 歴史のなかの留学生」開催



<記念式典：東北大学片平キャンパス・魯迅階段教室>

平成 16 年は、藤野巖九郎と魯迅が、仙台医学専門学校階段教室で出会ってから、ちょうど 100 年目。仙台市と東北大学では、実行委員会を立ち上げ、魯迅先生東北大学留学百周年記念事業を行いました。

10 月 23 日には、東北大学片平キャンパス・魯迅階段教室で記念式典が開催され、藤野巖九郎のふるさと・あわら市からは、松木幹夫あわら市長と奈須田和彦あわら市日本中国友好協会顧問（旧芦原町長）が出席しました。

滞在中には、吉本高志東北大学総長や藤井黎仙台市長との会談も行われ、まず、東北大学総長との会談では、藤野巖九郎記念館や紹興・上海・北京にある魯迅記念館と東北大学との今後の連携、交流方策等について意見交換を行いました。



<吉本高志東北大学総長と会談する
松木幹夫あわら市長・奈須田和彦
市日中友好協会顧問>

次に、仙台市長との会談では、あわら市側から「これを機会に、あわら温泉と秋保温泉との交流も検討したい」と提案。仙台市長は「東北から北陸への人の流れが活発になり、親近感をもてる関係を築いていきたい。」と応じました。

また、10 月 23 日から 11 月 12 日にかけては、東北大学史料館で「魯迅 歴史のなかの留学生」特別展が開催され、藤野巖九郎記念館からも事業協力として「仙台医学専門学校教授辞令」等所蔵資料 7 点の貸出を行いました。

あわら市誕生記念式典にあわせ



紹興市友好訪問団が来市

平成 16 年 6 月 5 日、紹興市友好訪問団（団長 車曉端紹興市人民代表大会常務委員会副主任）一行 5 名及び紹興市経済貿易視察団（団長 張憲疆紹興市科学技術局副局长）一行 4 名が本市を訪れました。

この訪問団は、新生あわら市誕生後、初の紹興市からの訪問団となるもので、6月6日のあわら市誕生記念式典への出席のため、あわら市の招きに応じ来市したものです。

5日の市長表敬では、まず、松木幹夫あわら市長が歓迎あいさつのなかで、「新生あわら市と紹興市との友好都市関係の締結」を要請。これに対し、車団長は、「9月に紹興市で国際友好会館落成式が行われるので、その席にあわら市長を招待し、あわせて新たな友好都市関係の締結式を行いたい。」と応じました。

また、席上、紹興市から、あわら市誕生を祝し、銀製の「駿馬の額」が寄贈されました。



<紹興市から寄贈された銀製の「駿馬の額」>



<市内企業の視察>



<あわら市誕生記念式典で祝辞を述べる
車曉端紹興市人民代表大会常務委員会
副主任>

翌6日には、金津創作の森や市内主要企業の視察として新道繊維工業株式会社を訪問。新道繊維では、同社のグローバルな活動内容や中国のインフラ整備状況について、活発な質疑応答が行われました。

その後、一行は、あわら市誕生記念式典に出席し、車団長が祝辞を述べました。

藤野巖九郎と魯迅の師弟愛を機縁とする交流の絆は、旧芦原町からあわら市へと引き継がれ、両市の交流は更に発展するものと期待されます。

祝 小松上海便就航

曹建雄東方航空グループ副総裁が来市

藤野巖九郎のふるさと あわら温泉をPR

平成16年11月25日、小松空港と中国の上海浦東空港を結ぶ定期便が、中国東方航空により就航しました。

27日には、この記念すべき第1便に搭乗した曹建雄東方航空グループ副総裁一行20名が、藤野巖九郎記念館を訪れました。

はじめに、松木幹夫あわら市長と美濃屋征一郎あわら市観光協会長が「今回の定期便就航を機会として、たくさんの中国の皆さまに”藤野巖九郎のふるさと あわら温泉”へお出でいただきたい。」とあいさつ。これに対し、曹建雄副総裁は「これを機会に、中国の人々にあわら温泉を積極的に紹介したい。」と応じました。

一行は、この後、資料室や旧居を見学し、これまでのあわら市と紹興市との交流の歩みや藤野巖九郎の人となりを示す遺品や資料の数々を熱心に見入っていました。



<右から2人目が曹建雄東方航空グループ副総裁>

<小松・上海便の概要>

▼運航曜日 木・日(週2往復)

▼ダイヤ(時刻は、いずれも現地時間)

上海浦東空港発 9:20 → 小松空港着 12:30

上海浦東空港着 14:25 ← 小松空港発 13:30

※詳しくは、最寄りの旅行代理店等へお尋ね下さい。

<そのほか平成16年度には、次のような交流が行われました>

- 9.13 浙江廣播電視集團一行5名来市
- 9.17 国際協力事業団(JICA) 招請中国青年一行20名来市
- 9.26 遼寧省北陸三県視察団一行10名来市
- 10.25 紹興市友好交流団(団長 王越新紹興市人民政府弁公室副主任) 一行4名及び紹興市經濟視察団(団長 邵芷玲紹興市国際交流服務中心副總經理) 一行8名来市(～26日)
- 10.30 浙江省北陸三県視察団一行10名来市
- 11.15 第19次あわら市日本中国友好親善少年使節団(団長 児島博光教育長) 一行16名出発(～20日)
- 1.17 江蘇省北陸三県視察団一行10名来市
- 2.22 浙江省人民对外友好協会代表団(団長 陸国灝浙江省人民对外友好協会副会長) 一行5名来市